



茨城豪雨災害対策ワークショップ

(第7回 豪雨災害に関する情報交換会 (茨城))

茨城県では平成27年9月関東・東北豪雨、令和元年東日本台風、令和5年台風13号水害などの豪雨災害を経験しました。地球温暖化によって、将来的に豪雨災害のリスクが高まる中、豪雨災害の減災対策のために、地域レベルで情報交換を行い課題を共有し、協力して対策する必要性が求められています。令和6年度の「豪雨災害に関する情報交換会 (茨城)」では、県内の防災士や防災行政の担当者、学生、その他一般の方を対象に、「豪雨災害における自主防災組織・防災士などの役割と課題」について、グループディスカッションを行います。豪雨災害対策に強い関心のある方のご参加をお待ちしております。

2025年3月20日 (木) 春分の日
13:30～16:00

会場：茨城大学 理学部第8講義室
(対面のみ)

ワークショップ

豪雨災害における自主防災組織・防災士などの役割と課題

1. (講演) 豪雨災害時の避難行動に関する調査の報告
(若月泰孝 茨城大学)
2. グループディスカッション
防災情報の収集と判断は？ 避難行動をどうやって促すか？ 平時の取り組みで何をすべきか？
3. ディスカッションの発表

参加申し込み

QRコードから、もしくはURLをクリックして、フォームにご記入の上お申し込みください。

<https://forms.gle/UyHdEg1uU3M1ULS5A>



主催：茨城県地域気候変動適応センター、茨城大学

共催：気象庁水戸地方気象台

お問合せ：本ワークショップ問い合わせフォームまで



茨城大学
Ibaraki University

